～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

上村高義議員

3 公共施設の老朽化対策と予防保全について

【質問1回目】

○上村高義議員 次に3番目、公共施設の老朽化対策と予防保全についてお尋ねいたします。

先般、総務常任委員会委員全員参加で岡山県倉敷市の公共施設の老朽化対策、実践から始めるファシリティマネジメント倉敷流の取り組み状況を行政視察してまいりました。今、全国の自治体でも公共施設の老朽化がクローズアップされました。さまざまな取り組みをしておりますが、この倉敷市でも平成19年から民間企業経験者を採用し、最初はこの方1人の地道な活動から始まり、今では長期修繕計画室という組織までつくり、大いに成果を上げつつあります。我々も視察に行きまして大いに勉強になりました。このことも参考にしながら質問をさせていただきます。

摂津市では平成24年から公有財産のデジタル化に取り組んでおりますが、最終的にはこの情報を生かした予防保全活動に取り組まれると思いますが、現時点での公有財産デジタル化の進捗と、いつごろこのシステムが運用されるのかをお聞かせいただきたいと思っております。

【質問1回目への答弁】

○有山総務部長 公有財産デジタル化の進捗についてのご質問にお答えします。

平成24年度に緊急雇用創出基金事業を活用し、公有財産情報デジタル化委託を行っております。従来紙ベースでありました公有財産台帳、土地台帳と建物台帳を電子化するので、各施設管理者によるデータ、土地や建物の登記証明書及び路線価データの整理を行っております。

いつごろの運用になるかというお問い合わせでございますが、各施設担当者がデータの変更や修正などデータ更新のための仕組みを現在進

めている情報ネットワーク構築のスケジュールに合わせて行ってまいります。また、公共施設マネジメント支援システム導入に当たり、過去の修繕や維持管理履歴を入力し、ウェブ上でその管理を行うなど、庁内的な運用を進めてまいります。

【質問2回目】

○上村高義議員 次に、公共施設の老朽化ということで、公有財産デジタル化についてはデータの整理中というか、鋭意データを今打ち込んでいますということで、導入予定の情報系ネットワークのスケジュールに合わせて運用を開始してまいりたいということであり、大いに期待しておりますので、また運用開始になった時点で説明いただきたいと思っております。

それと、市政方針に示されている予防保全への取り組みということについては、デジタル化が進んでいけば予防保全に進んでいくと思えますけれども、今後どういう形で進んでいくのかということについて、考え方をお聞かせいただきたいと思っております。

それと、これは非常に人手というか、人員が要ると思えますけれども、倉敷の行政視察の中で結構組織化されてましたけども、摂津はどういう形で進むのかなということについてお聞かせいただきたいと思っております。

【質問2回目への答弁】

○有山総務部長 今後の予防保全とその推進体制についてお答えいたします。

まず、ファシリティマネジメントの導入についてですが、現在本市は建物財産として21万1,700平米余りを保有しております。それぞれの施設管理者によってその営繕を行うことで施設としての役割を果たしております。

しかしながら、財産としての価値を維持し

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

上村高義議員

3 公共施設の老朽化対策と予防保全について

つつ機能面で有用に活用していくためには、営繕を行う時期、規模を総合的に判断していく必要があります。現状では施設管理者の多くは事務職であり、また、営繕予算を査定する財政課にも専門家がないことから、双方が建築課に相談する状況となっております。予算配分においてどの時期にどの施設を優先的に営繕するかの総合的な判断はなかなか困難な状況でございます。財政的にも施設の維持管理経費は補助金や市債発行の対象にならないことから、財源確保についても苦慮しているところであります。

これらのことから、公共施設マネジメント支援システムは、平成25年度より各施設担当者による修繕履歴や光熱水費などの維持管理を過去にさかのぼり入力いただくことで、今後の維持管理経費の見通しを図れるものと期待しております。

次に、推進体制についてでございますが、現在まで本市において財産管理は集中管理、分散管理とその時々組織機構の考え方からさまざまな体制が組み立てられてきたところでございます。昨年、財産管理に対してデジタルデータによる管理を導入したことから、一元的な管理をするための庁内的な仕組みづくりが必要と考えております。また、制度として定着を図るためには、その業務を担う職員配置や人的整備の検討を今後してまいります。

【質問3回目】

○上村高義議員 次に、公共施設の老朽化対策ということで、ファシリティマネジメント、そして予防保全ということでもありますけれども、先ほど答弁いただきましたけれども、人的配置、推進体制も含めて今後取り組んでまいりますということでもあります。

実は、老朽化対策の資料として先般、橋梁の長期修繕計画、建設常任委員会に提示しま

したよね。これは非常に立派な資料で、すごいなと思ったんですよ。これはこれで、あと教育関係の摂津市教育施設劣化調査報告、これも教育委員会のほうから出していただきましたよね。ここには生涯学習課所管のやつは掲載されていないんですよ。公民館とか、児童センター等々は載ってないんです。だから橋と学校関係はある程度載っているわけですが、全体の摂津市の公共施設の劣化状況、あるいは更新費用が幾らかかるかということが我々大いに注目しているわけですし、そのお金が非常に膨大になるのか、幾らになるのか早く知りたいとか、それに基づく予防保全計画をつくる、そしていつ修理したほうが一番安くつくのか、これはライフサイクルコスト、LCC、ライフサイクルコストミニマムというんですけどね、設備の一生の経費をいかに安くするかということが問われていますので、それを早くつくって、この膨大な修繕費用をいかに抑えるかということと、それを見据えた中期財政見通し等々もぜひつくっていただきたいというふうに思っていますので、そのことを要望し、私の質問とさせていただきます。